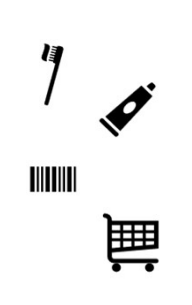
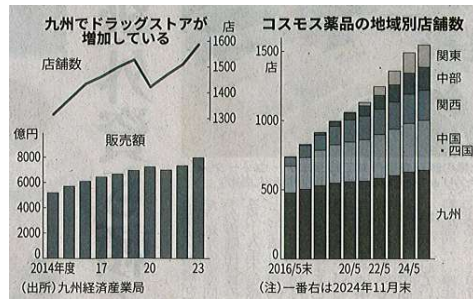


ドラッグ店とスーパー、九州で火花

コスモス薬品、売上高1兆円へ

九州地盤のドラッグストア業界がスーパーから顧客を奪い勢力を拡大している。地場最大手のコスモス薬品は徹底しローコスト経営で出店を加速、売上高は2025年5月期に初めて1兆円を超える見通しだ。対するスーパー側もイオン九州が新業態で反攻に打って出るなど、激しい競争を繰り広げている。コスモスの横山英昭社長は「当社（の存在意義）はローコストオペレーションに磨きをかけることにあっている」と強調する。郊外の幹線道路沿いの大型店を基本とし、同一地域で集中的に出店する「ドミナント」戦略により低コストで安定した調達網を構築。店内では商品を売れ筋に絞り、現金決済に限ることで業務や決済手数料の負担をなくす。徹底したローコスト経営は取引先への姿勢にも表れる。同社と取引がある食品メーカーの幹部は「コスモスへの納品ミスは許されない」と打ち明ける。季節の変わり目など陳列商品の入れ替え時に棚に残れるかどうか、厳しく評価されるという。九州経済産業局によると、九州7県のドラッグストア販売額は23年度に7933億円と前年度比8%増えた。店舗数は5%増え、増加率は全国を2割上回る。ただ23年10月の推計人口に基づく九州の人口1万人当たり店舗数は1.23と、全国の1.52より少なく「出店余地はまだある」（業界関係者）。好立地をめぐる競争は今後さらに激しさを増しそうだ。

—日経MJ2025.1.29—



ロス初ドーナツ陳列ドンキ流

数百個ズバリ楽しさ出演/日本で50店目標

飲食店運営などを手掛けるグリット・インターナショナル（東京・渋谷）は今春、米国のドーナツ店「ランディーズドーナツ」の日本1号店を開く。ランディーズは米ロサンゼルス発祥のブランドで米国、韓国、フィリピンに店がある。1号店は流行の発信地である東京渋谷区で開業したい。顧客層は10〜20代の若年層を想定している。ドーナツの価格や種類は米国にならいい、1個あたり300〜550円で、40以上の種類を考えている。ラインアップの豊かさを売りにする。韓国など他の国のランディーズとレシピを共有しており、韓国ではやっているものを導入したり、日本独自の商品を開発したりする。

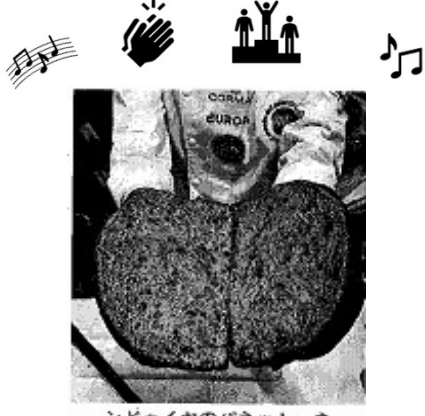


28年末までに50店を出店したい。東京や大阪、名古屋、福岡とした主要都市に出店していきたい。厨房付きの店舗は広さが100平方メートルほどで5店舗ほどのドーナツの製造をまかなえるようにする。厨房付きの店の周辺に衛星店として、15〜50平方メートルほどの店を作る方式で集中出店していく。参入当初は都市部の出店になるが、中長期的には、ランディーズを地方にも広げる。スイーツではなく、日常食としてドーナツを食べる文化を根付かせて、市場を開拓していきたい。

—日経MJ2025.1.31—

☆ :.*.:° ★ ' .:.*.: .:.*:☆ :.*.:° ☆ .:.*.:° ★ ' .:.*.: .:.*:☆ .:.*.:° ☆ .:.*.:° ★ ' .:.*.: .:.*:☆

世界が注目したパネットーネの祭典



🏆 「コッパ・デル・モンド・デル・パネットーネ」 🏆

2024年11月、ミラノの中心部にあるカスティリオーニ宮殿で「Coppa del Mondo del Panettone 2024(パネットーネ世界大会)」が開催されました。今年の会場となったカスティリオーニ宮殿は、1903年に建築家ジュゼッペ・ソムマルガによって設計された20世紀初頭のミラノの都市景観に重要な影響を与えた建物の一つでもあります。そんな歴史的な建物で、世界中からパティシエやパン職人が集結し、世界一のパネットーネを決める大会が開催されました。

【パネットーネとは】パネットーネは、イタリア・ミラノ発祥の伝統的な発酵菓子で、特にクリスマスシーズンの楽しまれています。生地には、ドライブツールがたっぷり練込まれていて、通常は1kg前後の大きさに作られます。パネットーネ作りには長時間の発酵が必要で、完成までに数日間がかかります。生地の発酵にはエピトマードレと呼ばれる発酵種を使うのが伝統的で、これによってふんわりと軽い食感が生まれます。

結果は、第1位がトン・コルテス氏（スペイン）、第2位がパスカーレ・ペッシェ氏（イタリア）、第3位がマウリツィオ・サリーオーリ氏（イタリア）がそれぞれ獲得しました。

—パンニュース2025.1.15—